

酪農だより

Vol.
695

令和元年12月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」～酪農家の心を食卓へ～

MERRY
CHRISTMAS



今月の特集

大山乳業 1年の振り返り

白バラニュース2019

現場潜入

今年度来場者数10,000人突破!

大山乳業農協工場見学

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ

女性活躍推進企業認定

大山乳業農協は鳥取県から「鳥取県男女共同参画推進企業」「輝く女性活躍パワーアップ企業」の2つに認定されました。これからも男女共に働きやすい職場づくりを積極的に進めます。



白バラ認証制度始動

より良質な生乳生産のために鳥取県独自の基準をもとに行う「白バラ認証制度」が始動。春と秋の巡回審査に合格した牧場には大山乳業農協オリジナルの認証看板が掲げられます。



乳価値上げ・製品価格改定

生産基盤の回復・強化を目的に、生産者団体と乳業メーカーが2019年4月度から乳価の値上げに合意。主要原材料相場や物流コストも高騰する中で、製品価格の改定を行いました。



牛乳の日に絵本「こんにちはもーちゃん」発売

酪農家の吉田さんが、沢山の方に牛の事を知ってほしいとの思いから作られた絵本が牛乳の日に合わせて発売されました。絵本は鳥取県の図書館と小学校へ寄贈されています。



父の日に乳を贈ろう！ PRへ平井県知事訪問

6月16日の乳の日を前に「父の日に乳を贈ろう！」キャンペーンの一環で平井県知事を訪問しました。知事のダジャレも冴え、和やかな訪問に。知事と一緒に「牛乳で乾杯！」。



カントリーマアムから 白バラコーヒー味発売

不二家とのコラボ商品「カントリーマアム白バラコーヒー味」が発売されました。今年は、他社とのコラボ商品発売も注目されました。



大山乳業農協 1年の振り返り 白バラニュース2019

2019年も残すところあとわずか。皆さんにとってこの1年はどんな年だったでしょうか？

今回は「白バラニュース2019」と題し、今年の大山乳業農協の出来事をご紹介します。

「平成」から「令和」へ 新しい時代も大山乳業農協の 変わらない思いを胸に

専務理事 平野 浩

今年は平成から令和へと元号が代わり、多くの人々が新しく訪れる時代へ期待と希望を抱き胸を躍らせた。

一方では昨年に引き続いて今年も台風や水害など甚大な被害をもたらし、改めて自然災害の恐ろしさを思い知ることとなりました。

そんな中、日本で開催されましたラグビーワールドカップ2019では日本代表が史上初の決勝トーナメント進出に人々が盛り上がり、日本代表チームからパワーをもらいました。

流行語大賞になった「ONE TEAM」という言葉は、ラグビーチームを作るうえで一体感のある組織を目指そうと考えられた言葉です。

創立73年を迎えた大山乳業農協は、発足当初の想いを白バラブランドとその精神から生まれる製品と共に代々受け継ぎ今日に至ります。

組合員・役職員一丸の「ONE TEAM」となり、想いを共有し一体感のある組織であり続けるよう邁進致します。



1月

- ・新年互礼会
- ・デーリーキッズサポート
- ・日本海新聞「鳥取県平成史」

2月

- ・鳥取県生協産直ミニ懇談会

3月

- ・第52回通常総会
- ・工場見学通路開放デー
- ・第30回鳥取県B & Wショウ
- ・大山まきばみるくの里スプリングオープン

4月

- ・第34回中国地区B & Wショウ
- ・第3回大山町乳牛共進会
- ・西日本酪農発表大会

5月

- ・白バラ認証春の巡回審査スタート
- ・ゴールデンウィーク工場特別開放

6月
牛乳月間

- ・京都生協「初夏の鳥取フェア」
- ・第13回中部酪農祭
- ・工場見学来場者3,698名達成

7月

- ・第48回全国酪農青年女性酪農発表大会
- ・京都生協「もーもーキャンプ」& コープしが「サマーキャンプ」

8月

- ・デーリーキッズサポート
- ・京都生協、コープしが「鳥取フェア」

9月

- ・工場見学通路開放デー

10月

- ・令和元年度鳥取県畜産共進会
- ・令和元年度製造技術発表会
- ・白バラ牛乳ふれあい交流会

11月

- ・2019産直フォーラムin京都
- ・酪友フォーラム
- ・大山乳業酪農女性部部員研修会
- ・工場見学通路開放デー
- ・来場者数10000人達成
- ・白バラ認証秋の巡回スタート



萩野 詩季さん(25)



テレビ番組「日本のチカラ」で指導課の仕事を紹介

全国ネットのテレビ番組で指導課の仕事を紹介して頂きました。放送後は番組を見られた方から応援の声を多数頂き、大山乳業農協を知っていただく事が出来ました。

第21回大山まきば祭開催

今年は天候に恵まれ約3000名の来場者と交流を深めました。ステージでは県内の団体が傘踊りやダンス、和太鼓を披露。おいしいグルメや大山乳業製品の試飲・試食もあり、賑やかな1日になりました。

消費税増税に伴い乳代精算システム更新

経理システムの更新や軽減税率講習会を開くなど、消費税増税を前に準備に追われました。また、増税に伴い乳代精算システムも更新し、乳代精算書も新しいフォーマットとなりました。

(株)ブッシュクローバース竣工式

県内2つめのメガファームが竣工しました。新牛舎は600頭収容でき、搾乳施設は40頭搾乳可能なロータリーパーラーです。竣工式では多数の来賓が参列し、竣工を祝いました。

大山乳業ブランドムービー公開

大山乳業の酪農を知っていただくため、ブランドムービーを作成。動画は3編で構成され、酪農家の仕事風景や鳥取の自然を温かみのある映像と共にぜひご覧ください。



卓球 松平健二選手とスポンサー契約

来年1年間、卓球松平選手とのスポンサー契約を交わす事となり、工場PR室にて記者発表が行われました。発表には多数の報道関係機関が訪れました。大山乳業の牛乳・乳製品で松平選手の活躍を応援します!!



今年度来場者数10,000人突破！ 大山乳業農協工場見学

＜消費者の皆さんへ大山乳業農協の魅力発信＞

**祝 今年度工場見学
来場者数1万人突破！**



工場に訪れると、牛柄のベンチに出迎えられ、記念ステッカーのプレゼント。「うわ！すげー！」「お母さん、早くこっち見て！」

県内外から訪れるお客様を笑顔のスタッフが出迎えるのは大山乳業農協の牛乳・ヨーグルト工場見学。

11月16日、大山乳業農協の工場見学スタッフにとって初めての記念すべき瞬間が訪れようとしていました。

スタッフの気分の高揚をよそに到着されたのは湯梨浜町から来てくださった皆さん。

スタッフが案内した部屋に入ると、なんとそこは工場見学来場者1万人達成セレモニーの会場！

皆さんが突然のセレモニーに驚いておられました。小前組合長から記念品を受け取り、セレモニーに登場したカウイーと記念写真を撮るなど、大変喜んでくださり、お客様にとっても記念に残る出来事になったようです。

今回達成した来場者1万人の舞台裏にはどのような取り組みがあったのでしょうか。

今回は記念すべき来場者1万人を達成した大山乳業農協の工場見学へ潜入したいと思います。

何度でも来たくなる 工場見学を目指して



大山乳業農協は2016年に創立70周年を迎え、これから大山乳業農協が目指す姿を「ブランドビジョン」として定めています。

その中に「工場見学来場者を年間1万人以上にする」という目標があり、目標達成に向けた取り組みを行っています。

ここ数年の来場者数は増加傾向にありましたが、目標とする1万人には至っていませんでした。そこで、予約が必要な通常



の見学とは異なり、予約不要の工場見学イベントの回数を今までの3回から8回に増やして開催。さらに地元琴浦町のイベントともコラボするなど、イベントに力を入れました。

一方で、イベントはいかに「また行ってみよう」と思ってもらえるかが重要。毎回似たような企画では来場者は伸び悩みました。月に1度行う工場見学会議には、営業課・企画室も参加し、企画立案を行い、6月の牛乳月間に合わせて開催した際は「利き牛乳」を実施。豪華景品が当たるとあって、大人も子どももこぞって参加されました。中には、自宅で飲んで予習してきたという方も。

そして、今年1万人の来場者数を実現させる要因となったのは、11月のイベントです。琴浦町が主催するイベントとコラボした結果、なんと過去最多の900名が来場されました。

このイベントでは工場見学に訪れ

る方に30代の若い世代が多いことを生かして、SNSシェア企画を開催。工場見学イベントの告知画面をシェアした画面を当日スタッフに提示するとオリジナルグッズプレゼントという企画で、結果的に約200人の目に工場見学の情報が触れる嬉しい結果になりました。

当日は、受付を待つ列ができ、あっという間に下足場もいっぱい。来場の皆さんは工場見学に加え、ケーキの試食や新製品の試飲、そして骨の健康チェックなど、イベントを満喫しておられました。

思わぬ効果に驚きながらも、企画の重要性や事前準備など来年につながる学びとなりました。

そして何より沢山のご来場のお客様の楽しそうな声や笑顔を拝見し、「また次も来ます」と手を振って帰られた後姿を見送った際は、やってよかったと思える瞬間でした。

これから目指すのは 「オンリーワン」



今年度の来場者数は、現時点で予約のお客様も含め1万745名。来年は、さらに若い世代の来場者増加を目指したいとの事。そのためには、イベントだけでなく、通常の見学来場者の底上げも重要です。

大山乳業農協の工場見学の特徴は、お客様との絶妙な距離感。家族で見学に来られた方からはスタッフと一緒に撮った写真を添えてお礼状が届きます。何度来ても新しい発見があります。「楽しい」工場見学となるよう進化を続けてほしいと思います。

今、家族に手を引かれて工場の見学に訪れる小さなお子さんが、将来大人になり自分の家族と共に再び大山乳業農協の工場見学へ来てくださる日が来ることを願っています。



1. 来場者 10,000 人セレモニーのようす
2. イベントには多くの子ども達も参加します
3. 工場にはここでしか見られない貴重な資料も
4. お客様の目に触れる壁にはこんな飾り付けが
5. 工場見学担当スタッフの山崎さんと村上さん
6. みんな大好き「白バラ牛乳」が待ってます!!



製造部レポート 製造技術体験発表会 最優秀受賞

10月17日(木)熊本県熊本市で全国農協乳業協会主催の令和元年度製造技術体験発表会が開催され、それぞれの技術発表と情報共有を行いました。今年は、昨年より2組多い6組が参加し、大山乳業は乳製品課の横山と岡本君の2名で参加しました。受乳・クリーム・バター・粉乳の4部門で独自製作した洗浄機、粉乳工場CIPの自動化等をパワーポイントの視覚効果や映像を使い発表し最優秀賞を頂きました。

発表は製造・設備部門に限らず、お客様との電話対応をフローチャートやマニュアルを活用し時間短縮等を行う「お申し出対応マニュアル活用によるお客様対応の向上」などもあり、様々な部門で改善の可能性のある事を実感しました。

大山乳業は昨年に続き2連覇することが出来大変嬉しく思います。来年は3連覇してくれることを期待しています。

(乳製品課横山)



発表のようす

災害支援レポート JAGグループ 千葉県台風災害支援隊に参加

11月11日から15日の5日間、JAGグループ鳥取等から28名で千葉県南部のJA安房管内の青木温室組合の温室団地で割れたガラスの片づけ等の災害支援活動に参加しました。

同県は9月9日、台風15号の直撃により、これまでに経験のない甚大な被害を受けました。

多くの倒壊した家屋・ハウスが手つかずで残る中、農家により被害の状況も復旧の進捗も異なり、ある農家では「出荷前の花などが全損・全壊の状況を前に離農も考えたが、支援隊が来てくれた事で続ける意欲が湧いてきました。」という言葉を感じ、今回の活動が、微力ですが力になったのではないかと感じた5日間でした。

(乳製品課 前田)



割れたガラスの片付けのようす(写真左)

企画室レポート 管理職ランチミーティングを スタートしました

11月11日(月)から小前組合長と管理職とのランチミーティングが始まり、各部署から管理職が集まり業務やマネージメント、今後の組合についてなど活発に意見が交わされました。

初回のランチミーティングを終え、小前組合長は若手の管理職から前向きな意見を多く聞く事ができたのかもしれないと感じた。若い管理職は教える立場の一方で、まだ先輩管理職から学ぶことも多い。職員同士のコミュニケーションと思いやりの気持ちを持って、頑張っていきたい。と参加者へコメントされました。

今回スタートした管理職向けのランチミーティングは3月末まで全11回の予定で開催されます。



役員室を会場に、和やかな雰囲気で行われました

牛乳普及協会レポート 牛乳・乳製品利用料理コンクール 中国地区大会で鳥取県代表健闘

11月16日(土)岡山学校給食会学校給食総合センターを会場に令和元年度中国地区牛乳・乳製品料理コンクールが開催されました。

同コンクールは牛乳・乳製品の知識普及と消費促進に資することを目的としており、中国5県の県大会を勝ち進んだ10名が参加しました。

審査の結果、最優秀賞は岡山県代表の松本さんの「みるく親子丼」、そして優秀賞には鳥取県代表の山本さんの「大葉香るカリッとカニクリ春巻き」が選ばれました。

山本さんは鳥取県大会を終えるとすぐに具材の切り方や彩り、盛り付けに工夫を重ねたそう、中国地区大会でも存在感のある一皿を審査員に披露しました。



最優秀賞【みるく親子丼】



優秀賞【大葉香るカリッとカニクリ春巻き】

第8回 ノロウイルスにご用心

今年も早いもので残すところあとわずか。この時期に注意が必要なのはノロウイルスです。ノロウイルスは1年を通して発症のリスクがありますが、特にこの時期に発生のピークを迎えます。

感染経路は、カキ等の二枚貝や調理者の手指から汚染された食品を飲食することで発症する食中毒やノロウイルス感染者の嘔吐物や排便物を原因とする接触感染、嘔吐物処理後の残渣が乾燥後空气中に浮遊することが原因となる塵埃感染等です。このうち、調理者の手指からの食品の汚染や接触感染は、トイレの後・帰宅後・調理前や調理中の徹底した手洗いを行うことで防ぐことができます。石鹸で10～30秒もみ洗いし、その後流水で15秒間すすぎをすることでウイルスを99.99%減らすことができると言われています。また汚染された食品は、85～90℃、90秒以上しっかりと加熱することでノロウイルスは不活化します。もし身近でノロウイルス感染者が嘔吐した場合は適切に処理し※1、床や絨毯等にウイルスを残さないようにしましょう。もちろん、処理作業後の手洗いはより念入りにすることも重要です。

年末年始は、お酒の席への誘いも増えますが、ノロウイルスは調理従事者からの二次汚染が多数を占めています。自分が感染源とならないよう、また、家族に感染者が生じた場合はそれを拡げないよう心がけたいものですね。

※1 嘔吐物の処理方法は厚生労働省のホームページをご参照ください。



皆さんからの投稿 お待ちしております

直接お持ちいただく際は、指導課山根・企画室福井・佐伯まで。

メールで投稿の際は、件名へ【らくのうギャラリー行き】とご記入頂き、email@dainyu.or.jpへお送りください。

川柳コーナー
優しさは鳩達も寄る 酪農課

救急の病棟に似た酪農業
それ以上なり 品管の日々も

女房と毎日毎日乳搾り
好きなんだよね お互いの事

短歌コーナー
短歌や川柳でニンマリ笑ってごしないよ
田中義博さん(倉吉市)

我が家に双子君が誕生しました

先日、我が家に双子の子牛が産まれ、家族中至福の間!!でも双子ちゃんではなく、双子君でした。残念!すると孫3人が「どこにも売らないヨ。誰にも売らないヨ。じいちゃん、この双子はずーと飼って乳搾るけな!!」



特に3番目が私を睨んで言いました。孫はかわいいよネ、子供はいいよネ。本当は双子の雄なのにネ。本当にチビスケ達がかわいいよネ。70のおじい泣き笑いになっちゃった。もう一度、残念!

田中義博さん(倉吉市)

私のオススメ

この春6年ぶりに本所勤務になりました営業課の山根です。

私のオススメは宅配専用牛乳の「厳選大山牧場」です。この商品は約30年前に発売され、鳥取県産牛乳の中でも特に厳しい基準を満たした生乳のみを使用したプレミアム牛乳です。

発売当時はバブル経済全盛期。時代の後押しを受け、まさに時代にマッチした商品でもあったと思います。

そんな昭和・平成の時代を思い起こさせるこの商品は、今も昔も当組合の最高峰の牛乳です。

時代は変われど豊かさやロマンを感じさせる「厳選大山牧場」をこれからも多くの消費者の方に飲んで頂きたいと思っています。



最高峰の牛乳、ぜひ飲んでください!!

指導課

通信



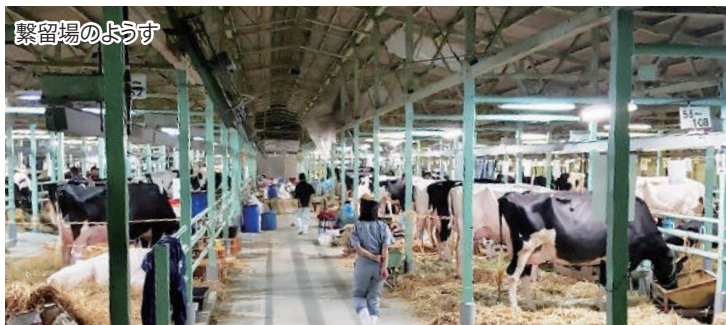
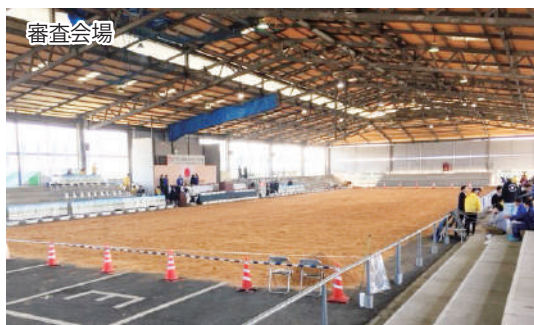
第15回全日本ホルスタイン共進会開催のお知らせ (ホルスタイン全共対策委員会)

令和2年10月31日(土)～11月2日(月)の間、宮崎県都城地域家畜市場において「第15回全日本ホルスタイン共進会九州・沖縄ブロック大会」が開催されます。本県の出品割当ては5頭(一般3頭・後検1頭・高校1頭)で順次選定をすすめていきたいと思ひます。多くの皆さんの参加申込みよろしくお願ひします。

また、11月2日に九州連合ホルスタイン共進会が開催されました。今大会は第15回全日本ホルスタイン共進会のプレ全共として取り組まれており、事前調査を踏まえ視察にいつた会場の写真と合わせて紹介します。

第15回全日本ホルスタイン共進会開催概要

名 称	第15回全日本ホルスタイン共進会九州・沖縄ブロック大会		
サブタイトル	酪農の祭典2020 in 九州・沖縄		
テ ー マ	新しい風は九州・沖縄から。ミルクでつながる、みんなの笑顔。		
開 催 期 間	共 進 会	2020年10月30日(金)から11月2日(月)	
	協賛催事	酪農資材器具展・技術交流会ゾーン	2020年 10月30日(金)から11月2日(月)
		物 産 飲 食 ゾ ー ン 「物産・飲食」ゾーン:ミルクロードゾーン	
日 程 (共進会行事) 注:行事日程は、変更になる場合があります	10月31日(土):開会式、比較審査 11月 1日(日):比較審査、最高位決定審査 11月 2日(月):上位入賞パレード、閉会式・褒賞授与式		
出 品 規 模	ホルスタイン種:250頭(41都道府県)・ジャージー種:20頭(7道県)		
会 場	共 進 会:都城地域家畜市場 協賛催事:共進会会場近隣地		
主 催	共 進 会:一般社団法人日本ホルスタイン登録協会 協賛催事:第15回全日本ホルスタイン共進会九州・沖縄ブロック大会実行委員会		



●九州連合ホルスタイン共進会のようす

指導課コラム
肺炎予防にワクチンを

12月に入って急に寒くなってきましたね。この季節には、子牛はもちろん親牛でも肺炎の流行が起ることがあります。

放牧場上がる育成牛では呼吸器病の混合ワクチンを投与していますが、その後打つことがなければ肺炎ウイルスに対する免疫がなくなってしまう。農家さんによっては、自家ですつと飼っておりワクチンを打つたことがない方もいらっしゃるでしょう。

肺炎ウイルス、と一言で言いますが、中には流産を引き起こしたり乳量を激減させたりするものもあり、ひとたび流行が起きると大きな損害がもたらされます。

では、呼吸器病の混合ワクチンはどんなふうに打つのがよいでしょうか。



① 流行時期の前に一斉に打つ

肺炎が流行しやすい時期になる前に、全頭に一斉に打つ方法です。

11月～12月ごろが最も良いですが、肺炎は春先まで流行が続きますので、1月上旬くらいに打つても無駄にはなりません。

免疫の付き方は牛によってばらつきがあるのですが、みんなに一斉に打つことで弱い牛を守ることができます。

② 乾乳期に打つ

特に疾病に弱い分娩後に免疫を上げておくことが出来る点で優れています。乾乳期に打つことで、初乳を通して子牛への免疫移行も期待できます（親の初乳を飲ませていない場合は移行しません）。

継続していけば、牛群全体の肺炎への免疫力も上がっていくでしょう。一斉に打つよりコストが分散されるのも利点です。ただし、なかなか種が付かない牛や繁殖中止牛が取り残されることがあります。

③ 子牛の出生時や群移動時に打つ

出生時は親の初乳から免疫をもらうのが一般的でしたが、その時期にも有効なワクチンが開発されています（鼻粘膜に投与）。また、一頭ずつ飼育されていた子牛を群にまとめるときにはストレスで特に病気にかりやす

くなるので、前もってワクチンを打っておくのも良いです。

最後になりましたが、肺炎を防ぐためにはまず環境を整えることが大切です。換気をして新鮮な空気を入れること、農場に出入りする方に消毒を徹底していただくこと、栄養のバランスが整ったおいしいエサをたくさん牛に食べてもらうことが基本になります。また、ワクチンは元気な牛に打たないと効果がありませんのでご注意ください。

ワクチンの投与に興味がある方は、指導課またはかかりつけの獣医師にご相談ください。

乳用牛（子牛・育成を含む）に投与された場合、1頭あたり10000円の補助金が交付されます。



お知らせ：全酪連 酪農セミナー2020の開催について

全酪連 酪農セミナーが下記の日程で開催されます。興味のある方は是非ご参加ください。

日時 令和2年2月26日(水) 10:00～16:00

場所 岡山国際交流センター（岡山市北区奉還町 2-2-1）

内容

- 1) 演題：「乳牛への油脂給与」
- 第1章 脂肪酸とは何か？
 - 第2章 乳牛の脂質消化と代謝
 - 第3章 乳脂肪はいかにして合成されるか？
いかにしてそれを最大化させるか？
 - 第4章 脂肪酸添加の可能性

- 2) 講師：アダム・ロック博士（ミシガン州立大学）
3) 参加費：1名 5,000円

参加申し込み・お問い合わせ先
指導課 松井、または全酪連駐在 阿部まで

輸入粗飼料の情勢

品 目	今後の改定要因			特 記 事 項
	品代	為替	フレート	
フレート			↑	シアトル・タコマ港では、クリスマス商戦向けの輸入貨物の増加が見込まれており、港の混雑に拍車がかかることが予想されている。ポートランド港では、空コンテナの不足が依然として解消しておらず、今後増加することが予測されるオレゴン産のストロー需要に対応できるか懸念されている。ロサンゼルス・ロングビーチ港は、米中貿易摩擦の影響で取扱量が大きく減っている。また、2020年1月から重油に含まれる硫黄に対する環境規制が始まる。1月からの規制開始に合わせ、本格的にLSFCCの課金が始まる模様で、コストの増分は船会社及び牧草サプライヤーが吸収できるものではなく、製品価格への転嫁は不可避なものとなる。
ビートパルプ	→	↑ (円安傾向)	↑	ミシガン州では収量予測が下方修正されている。ノースダコタ州及びミネソタ州の北部から中部では、秋の記録的な大雨と冷涼な気候により約117,000エーカーの圃場で収穫を断念した。これは当初収穫予想量の約33%に該当する。ノースダコタ州東南部でも、状況は悪く収穫が放棄された圃場は全体の約13%と言われている。ミネソタ州中南部では、収穫期を通して天候不良に見舞われ、他地域と同様に収穫量は減少した。このように各地域で収穫量は当初予想よりも減少しており、今後のビートパルプの供給量にも大きく影響してくると思われる。
スーダングラス	→	↑ (円安傾向)	↑	今年は収穫直前の気温が例年よりも低かったことから茎のサイズにバラツキが生じ、細茎の上級品の発生は当初の予想よりも少なくなった。産地相場は日本からの安定的な需要を背景に総じて堅調に推移しているが、低級品についても、日本および韓国からの引き合いも強まっていることから相場は上昇しており、すでに産地側でも生産農家が在庫はなく、サプライヤー在庫もほとんどない状況で追加買付は難しい状況となっている。
アルファルファヘイ	→	↑ (円安傾向)	↑	主産地であるコロンビアベースンでは、収穫期を通して天候に恵まれず、1番刈では50-70%が雨当たりの被害を受け、降雨を避けた圃場でも、多くが刈遅れ品質となった。2番刈以降も不安定な天候は続き、変色(ブリーチ)の発生が多く、高成分・上級品の発生割合はシーズンを通して極めて限定的となった。米国内の乳価は昨年の同時期に比べ約20%上昇しており、米国内酪農家からの需要は底堅く、中東からの需要も強く、加えて輸出向けの良品質のものが産地全体として不足していることから産地相場は上昇している。
USチモシー	→	↑ (円安傾向)	↑	主産地コロンビアベースン及びエレンズバーグの1番刈は天候に恵まれ上級品が多く発生した。一方、2番刈は、多くが雨当たりの被害を受けた。産地の在庫は中～低級品については一部のサプライヤーが余剰を抱えている。産地相場は収穫当初から昨年に比べ下がりだったが、生産者の生産意欲を減退させる結果となり、来期に向け作付面積は減少していくと予想される。
カナダチモシー	→	↑ (円安傾向)	↑	アルバータ州南部レスブリッジ地区では一部の2番刈で未収穫の圃場はあるが、冬期を迎えこのまま収穫せずに19年産を終了する見込みである。1番刈は、収穫期の天候に恵まれたことから上級品が中心となり、2番刈の上級品の発生はごく一部で、多くは中低級品となっている。中部クレモナ地区では収穫期の天候が安定せず、収穫期序盤に生産されたものは上級品中心、その後は天候の悪化により中低級品が中心となった。産地相場は日本および韓国からの需要は安定した状態が続いているため、大きな変動は見られない。
オーツヘイ	→	↑ (円安傾向)	↑	西豪州全体では概ね60-70%が上級品、中級品は30%程度、低級品の発生はほぼゼロに近い状況である。南豪州においても、収穫期全般を通して天候に恵まれたことから、ほとんどが上級品となっており、中低級品の発生は限定的となっている。東豪州でも発生の中核は70-80%が上級品となっており、中級品が20-30%、雨当たりなどの低級品はほぼ発生していないようだ。豪州航路についても北米同様、1月から実施される重油に含まれる硫黄に対する環境規制に伴う海上運賃の上昇の影響は免れず、今後の価格に反映されると考えられる。中国、韓国向けなどからの引き合いも非常に旺盛で、特に発生が少ない中級品以下の産地価格を下支えしている。
クレイングラス	→	↑ (円安傾向)	↑	収穫期を通して天候は安定していたため、総じて良品が多く発生した年と言える。日本および韓国からの需要は引き続き強く、産地相場は堅調なまま推移している。
ストロー類	↑	↑ (円安傾向)	↑	台風の影響で自給飼料への被害があった日本、韓国の両国からの需要が非常に強く、産地価格は上昇している。



大山乳業農業協同組合 からのお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

令和元年11月20日理事会にて
次の議案が決議されました

【11月20日提出議案】

- 第1号議案 10月末経営検討について
- 第2号議案 指導部関連規定の一部変更について
- 第3号議案 貸付牛規程の一部変更について
- 第4号議案 安全運転管理規定の一部変更について
- 第5号議案 年末一時金について

物 流 課

直売所「カウイーのみるく館」
定休日について

次 回 の
定 休 日 は **1月9日(木)** です

※年末年始の営業日につきましては、右枠の【直売所・工場見学営業日・お問い合わせ窓口営業日について】をご覧ください

製造管理課

工場緑地帯の
イルミネーションを始めました

牛のモニュメントがある工場緑地帯にイルミネーションが復活しました。

今年は、工場の建物内にもイルミネーションを施して季節を演出しています。

イルミネーションは年末頃まで点灯する予定です。

ぜひ、皆さんお楽しみください。



酪農だよりに関するご意見ご感想はメールアドレス
[email@dainyu.or.jp]まで

QRコードからもメールアドレスを取得できます▶



年 末 年 始

直売所・工場見学営業日
お問い合わせ窓口営業日について

各業務につきまして年末年始休業日のお知らせです

カウイーのみるく館

12月31日(火) PMより休業 14:00まで営業

1月 1日(水) 休業

1月 2日(木) 休業

1月 3日(金) 通常営業



ネットショップ:カウイーの白バラショップ

12月28日(土)～1月5日(日)まで

発送業務を休業致します

※詳しくはショップホームページをご覧ください

工場見学

12月29日(日)～1月5日(日)まで

工場見学を休業致します

※1月6日(月)より再開致します(要予約)

フリーダイヤル

12月 28日(土)・29日(日)・31日(火)

1月 1日(水)・2日(木)・4日(土)・5日(日)

フリーダイヤルを休業致します

※1月6日(月)より通常営業致します

HPお問い合わせフォーム

12月28日(土)～1月5日(日)まで

問い合わせ対応業務を休業致します

※お問い合わせの送信は可能です

※期間中のお問い合わせについては

1月6日(月)より順次対応致します



ホームページ
からのお声



■ 絶大な信頼を寄せている食品メーカーです！なくてはならない美味しい商品を作り続けてくださってありがとうございます。これからもずっと応援しています！ (広島県)

■ とてもおいしく届けて頂けるのを毎週楽しみに待っています。販売店まで徒歩2分。週に2回の宅配と、土曜日には4歳の子供と販売店まで直接買いに行っています。子供のミルクエーストで瓶の牛乳がいいそうです。 (大阪府)

■ いつも紙パックの白バラ牛乳を美味しくいただいております。ですが瓶の牛乳を飲みたくて配達をお願いしようか悩んでいます。 (鳥取県)

■ 鳥取大山の豊かな自然の中で愛情たっぷりに育てた白バラ牛乳と乳製品はとても最高な宝物だと私はとても感心しました。これからも応援していきたいです。 (東京都)

■ 1歳になる子どもがいます。安心安全で、自信を持って選べる牛乳なので、我が子にも、白バラ牛乳を飲んで成長して欲しいと思っています。 (島根県)

■ 初めて白バラ牛乳を飲んだときは、美味しさにびっくりしました。大学の食堂にも売っているの、時々飲みます。大学進学で鳥取に来ましたが、色々試して白バラ牛乳が1番美味しいなと思っています。 (鳥取県)

令和元年度牛乳衛生功労者表彰 製造部 美船裕之審議役受賞

11月15日(金)、東京・千代田区のホテルグランドパレスで一般社団法人日本乳業協会による令和元年度牛乳等衛生功労者表彰式が開催されました。

今回の表彰式では、会長表彰が5名、会長感謝状が10名、永年勤続表彰が1名の合計16名が表彰を受け、製造部美船裕之審議役が会長感謝状を授与されました。

日本乳業協会の西尾啓治会長は挨拶で、受賞者への永年の貢献と努力に敬意を表され、功績を称え受賞を祝われました。また、「受賞者へこの功績を活かし後進の指導・育成に従来にも増して尽力ください。」と言葉をかけられました。



受賞者の皆さん(美船審議役：下から3段目、左から2番目)

第31回「巨木の郷 二人三脚・三人四脚駅伝大会」で健闘 | 陸上部ランナーズ

11月10日(日)琴浦町古布庄地区で、第31回「巨木の郷二人三脚・三人四脚駅伝大会」が開催されました。

爽やかな秋晴れの下、地区内外から計14チームが参加し、陸上部ランナーズは地区外の部に2チーム参加し大山乳業農協をPRしました。

コースは6区間7kmで、県の天然記念物「古布庄の大スギ(中津原)」から国の天然記念物「伯耆の大シイ(宮場)」までを二人三脚と単独走、最終区は三人四脚でタスキをつなぎゴールを目指します。

参加したメンバーは声を掛け合い楽しみながら走り抜け、熱戦の結果Aチームが地区外の部で見事優勝を果たしました。また、今年の新入職員で結成したBチームも2位となりました。

大会終了後の親睦会では古布庄地区で収穫された米や野菜、豚肉やいのしし肉を使った料理が振舞われました。

古布庄地区の皆様、ありがとうございました。来年もまた参加させていただきます。

写真は優勝したAチームのゴールのようす▶



今月より、新コーナー「カウイーのとっとリップ」がスタートします!カウイーが鳥取県の様々な名所を訪れ、見どころを紹介します。お楽しみに!

**カウイーの
とっとリップ** 今月は
冬の鳥取砂丘
へお出かけ!



真冬の鳥取砂丘が雪に覆われると、一面真っ白になるんだよ。広がる景色はまるで南極。ここが日本なのを忘れるくらい神秘的で幻想的な風景なんだ!鳥取に来たら立ち寄ってみてね♪

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回は昭和51年5月20日発行の「酪農だより172号」。建設中の鳥取放牧場の一部が完成し、多数の関係者が集まり放牧式が行われました。

編集後記

平成から令和新時代となった2019年も残りわずかとなりました。本年も「酪農だより」をご愛読いただき本当にありがとうございます。皆さまどうぞ良いお年をお迎えください。

酪農だより vol.695

発行責任者/小前孝夫 編集責任者/平野 浩
印刷所/山本印刷株式会社 発行日/令和元年12月20日



大山乳業農業協同組合

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
<https://dainyu.or.jp> E-mail:email@dainyu.or.jp